

令和6年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
疼痛理学療法学	講義・演習	松原 貴子・大賀 智史・服部 貴文・下 和弘	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)	15 回	2 年次	後期

授業の目的・概要

疼痛学の基礎ならびに疼痛の発生メカニズム、慢性疼痛の病態など疼痛の神経メカニズムについて学ぶ。また、疼痛の多面性を評価・治療するために、多角的かつ包括的なアセスメント法とリハビリテーション介入法（特に理学療法のなかでも、患者主体の運動療法）について習得することを目的とする。

授業の到達目標

- 疼痛の基礎、病態、神経メカニズムについて説明することができる。
- 疼痛の多面的アセスメント法について列挙することができる。
- 疼痛のリハビリテーション介入法について説明することができる。

授業計画

回	内容
1	疼痛の疫学、定義・分類①
2	疼痛の疫学、定義・分類②
3	疼痛の神経生理学① 疼痛の伝達経路
4	疼痛の神経生理学② 疼痛を抑制するシステム
5	疼痛の神経生理学③ 疼痛の発生メカニズム
6	急性痛とは
7	慢性痛とは① 病態
8	慢性痛とは② 神経メカニズム
9	疼痛のアセスメント法① 評価の考え方
10	疼痛のアセスメント法② 感覚評価、身体機能・活動評価
11	疼痛のアセスメント法③ 情動・認知評価、社会的QOL評価
12	疼痛のリハビリテーション介入法① リハビリテーションの有効性
13	疼痛のリハビリテーション介入法② 運動療法(1) 運動による鎮痛
14	疼痛のリハビリテーション介入法② 運動療法(2) 行動医学との組み合わせ
15	疼痛のマネジメント

成績の評価方法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
筆記試験	100%	疼痛の基礎や神経メカニズムについて説明でき、評価や介入の方法を列挙できる点を評価基準とする。
レポート・課題		
小テスト		
平常点		
その他		
自由記載		

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
ペインリハビリテーション入門	沖田実・松原貴子	三輪書店

自由記載

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名

自由記載

備考

臨床実習や卒後の実臨床で活用、実践できるように、具体例も示しながら講義するので、疼痛に対する正しい理学療法を習得してほしい。適宜、実習も交えて学習を行う予定である。

助手 堂北 純郁